

第20回災害対策本部会議

日時	令和元年11月7日(木) 13:30
場所	市役所本庁舎2階 特別会議室
出席者	市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、国土交通省東北地方整備局、福島県、新潟県、陸上自衛隊、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会、

【各部局長報告】

○保健福祉部長

- ・避難所状況は、11月7日現在 10箇所、178世帯、351人である。
- ・11月6日に障害福祉センターの避難所を閉鎖した。
- ・11月6日から入浴送迎を、ユラックス熱海から中央老人福祉センターへ変更した。
- ・福島県災害派遣福祉チームが11月11日から13日までの3日間入る。

○保健所長

- ・避難所インフルエンザ予防接種について、計43人に対して実施した。

○税務部長

- ・り災証明書の発行件数は昨日まで167件。(過去2日間システム障害あり。)
- ・11月8日で家屋等の調査は終了。今後はり災証明書発行にマンパワーをシフトしていくため、今後各部局へ応援要請を行う。
- ・11月5日に記者会見を行った「被害認定調査体制」については資料のとおりである。11月4日時点でチームにいがた・福島県・郡山市職員の延べ1,440名で8,617件の調査を実施した。「被災者生活再建支援システム」を導入し、全壊・大規模半壊世帯への優先交付を目指し、今後、発行件数も伸びていく見込みである。

○生活環境部長

- ・11/4までの災害ごみ搬出量累計7,045t。
- ・災害ごみ仮置き場については、逢瀬スポーツ広場と日和田スポーツ広場で受付中である。

○建設交通部長

- ・福島交通の玉川経由熱海行きのバス運行は11月11日に再開する。
- ・折り返し区間の限定バス料金は100円である。
- ・借上げ住宅の相談・受付件数は201件で正式申込は2件であり、応急修理の相談・受付件数は119件で正式申込は現時点ではなし。り災証明発行後に正式申込が増加

する見込みである。

【リエゾン等】

○福島県警

- ・被災地の犯罪抑止のための警戒パトロールを継続中である。

○自衛隊

- ・現在、いわき市において災害対応を行っている。

○国土交通省郡山国道事務所

- ・大善寺橋は11月2日に片側交互通行を解除。引き続き25t超については通行不可。

○福島県

- ・11月11日から13日までの3日間、福祉チームを派遣予定である。

○新潟県

- ・調査チーム、昨日までで非住家含む9128件実の調査を完了した。
- ・区域外含めて明日までに調査完了予定である。

○社会福祉協議会

- ・日が短くなり、今週からボランティア終了時刻を15:30から15:00に変更した。

【市長より】

- ・災害廃棄物の処理に関し、協力関係市町村に感謝を申し上げる。
- ・富久山クリーンセンターに関しては、原因究明のうえ河川改修計画を考えたい。
- ・り災証明書の発行には、内閣府の示す2つの指針と手引き3冊の理解のうえに、デスクワークを含めた手間の係る困難な作業を伴うことを理解いただきたい。
- ・水防法について、高潮、内水、洪水と同じ法律で整理されるが、実態に合わせた法改正が必要と考える。損害保険会社の考え方も参考にしながら全国的な課題として取り組んでいきたい。
- ・避難者は2次避難もあるが、次の住まいが重要である。個々の事情を抱えているため、一人ひとりの状況を聞いて、それぞれのふさわしい住まいに移っていただけるよう取り組むこと。
- ・日本はいわば雨季に入った。そもそも川の研究は難しいといわれるが、我々が実際に経験したことを専門家に知見として伝えられるよう、記録をきちんと整理していくこと。水が円滑に流れる川を目指したい。